

【学校教育目標 「美しく かしこく たくましい 深江っ子」の育成】



学校だより 諏訪の森タイムス

第 1 号

令和 5 年 4 月 12 日

南島原市立深江小学校

校 長 末吉 優

新年度が始まりました よろしくお祈りします

入学式で34名(本校13名・馬場分校12名・諏訪分校9名)の新入生を迎え、全校児童206名の体制がスタートしました。深江小学校教職員チームのメンバーは、下表のとおりです。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援のほどをお願いいたします。

担 当	氏 名	備 考	担 当	氏 名	備 考
校 長	末吉 優	3年目	教 頭	中村	口之津小より
1年1組	伊福	大野木場小より	養護教諭	川口	新規採用
2年1組	田中	堂崎小より	初任者研修指導	平山	
	高橋	育児休暇中	事務職員	徳嶋	3年目
3年1組	紫田	4年目	特別支援教育助手	中田	2年目
4年1組	土手野	3年目	特別支援教育助手	久保田	有家小より
4年2組	堀田	島原一小より	学校支援員	堀江	7年目
5年1組	豊島	3年目	用務員	川田	布津中より
6年1組	横田	2年目	馬 場 分 校		
6年2組	大平	2年目	1年2組	田中	2年目
つくし	永石	3年目	2年2組	吉岡	小林小より
たけのこ	宮崎	小浜小より	分校主任	池田	4年目
通級くすのき	中司	(有家小より 木曜日来校)	スクールヘルスリーダー	藤本	2年目
ことばの教室	中村	(有家小より 月曜日来校)	用務員	西田	2年目
専科	今井	3年目	諏 訪 分 校		
専科、TT	一倉	2年目	1年3組	酒井	布津小より
専科、TT	本多	飯野小より	分校主任	長橋	2年目
EAT	ミミ先生	2年目	用務員	山崎	9年目

着任式から

4月7日は、11名の先生方が着任をされました。児童を代表して、6年生の永石 くんが、「先生方との出会いにより、新しい一年が始まるのだと、希望と期待に胸がはずむと思います。本校の他に、馬場分校と諏訪分校があり、みんな明るく元気です。」と歓迎の言葉を述べました。

各先生方の挨拶や代表児童の話聞いていた、2年生以上の子供たちも真剣なまなざしで、新たな一年の始まりにやる気を感じていました。



1学期始業式における校長としての話から

科学技術の進歩により、世の中の変化は激しい。そのような中、一人ひとりが、夢や高い希望をもってほしい。そして、その夢や希望を実現するために、自分の学びや生活を、自分やみんなの力でつくってほしいと考えます。

新しい一年の出発に当たり、「一人ひとりが主役となり、時間やきまりを守った上で、みんなが安心して学び、友達と仲良く遊ぶ楽しい学校生活をつくっていく」ことを期待します。

次に、この新しい一年、「3つの「あ」」をがんばっていきましょう。

一つ目の「あ」は「あいさつ」

みなさんは、正門から登校班で登校しています。噴火を繰り返し、大きな災害をもたらした雲仙普賢岳は、今では活動が収まり、豊かな自然とめぐみをもたらし、私たちが安心して学べる環境をつくり、私たち自身が学ぶ学校・地域をあたたく見守っています。その、お山・雲仙岳と学校に感謝の身持ちを込めて一礼し、挨拶をしているのです。



みなさんの大切な「命」を考え、安全な登下校を願っている地域のみなさんもいらっしゃいます。「おはようございます」という、たった一言のあいさつから、地域へ元気を届ける、「今日も元気で行ってらっしゃい！」



などと、地域から元気をいただくこともある。「人間関係の扉を開くあいさつ」につなぐことができる。出会った相手に対して心を開いていくあいさつは、心豊かな人間関係を築く上での「最初の一步」と言える。気持ちの伝わる「あいさつ」に取り組んでいきましょう。

二つ目の「あ」は「ありがとう」

言うまでもなく、ものの受け渡し、友達にしてもらったとき、助けてもらったときなどに、気持ちを伝える時に使っています。形だけでなく、人として、人柄として感謝の気持ちが伝わるとよい。気持ちの伝わる「ありがとう」という言葉には、自然とお辞儀が備わることでしょう。

三つ目の「あ」は「あとしまつ」

自分が使ったものを元通りにしておくことは、自身の責任ある行動を示すということになります。言葉はいりません。行動で示せばOK。すでに行っていることもある。登校したら、ランドセルの中身を机の中に使いやすいうように入れたり、持ってきた荷物などを片付けたりしている。机の上や片付けや授業の準備、いす、掃除道具、いろんなところで**行動で示すチャンス**があります。

それらは、授業や、次に使う人への「心配り・思いやり」でもある。相手に心を開ける行いでもあり、自ずと「ありがとう」という言葉も備わることでしょう。思いやり、喜びを感じ、心が温かい児童のみなさんが増えていくのではないかと思います。

学級でも自分たちにできることを確認して取り組んでいただきたい。みなさんの「よき習慣」、当たり前のこととして身に付くよう期待しています。

